

2024. 3

No.46

東京都立 中央・城北職業能力開発センター 総合相談レポート

なか・きた通信



中央・城北職業能力開発センター しごとセンター校（仮称）が開校します！

東京しごとセンター（千代田区飯田橋）の建物内に、求職者の方が職業訓練の様子を具体的にイメージできるよう、実習の見学や訓練体験等の機能を持つ、職業訓練施設を開設します。

同校では以下の4科目の訓練を実施する予定です（入校生の年齢は不問）。

ビルメンテナンス技術科（6か月コース）

内装施工科（6か月コース）

ホテル・レストランサービス科（6か月コース）

生活サポート科（3か月コース）

○訓練開始

令和6年7月1日（月）

○設置場所

東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター10～12階

【最寄り駅】 JR総武線、東京メトロ各線、都営大江戸線 飯田橋駅徒歩7分
JR総武線 水道橋駅徒歩7分
東京メトロ各線、都営新宿線 九段下駅徒歩10分

○募集開始

令和6年4月下旬（予定）
※訓練内容や入校選考等の詳細は、しごとセンター校（仮称）まで直接お問い合わせください。

☆しごとセンター校（仮称）の名称は東京都立職業能力開発センター条例の改正後に確定します。

☆同校の電話番号は、4月1日以降に「TOKYOはたらくネット」にてご確認ください。

【職業訓練の魅力を伝える情報発信拠点】

☆ロビースペースを活用し、PRブース等での訓練紹介やVR・メタバース等の最新機器を活用したバーチャル体験、職業訓練の実体験等を通じ、職業訓練の魅力を発信します！

産業人材の確保及び育成に関する調査結果

東京都立中央・城北職業能力開発センターでは、管内の中小企業に対して、人材確保・育成に関するアンケートを実施し、その結果を取りまとめました。

◆調査結果の概要◆

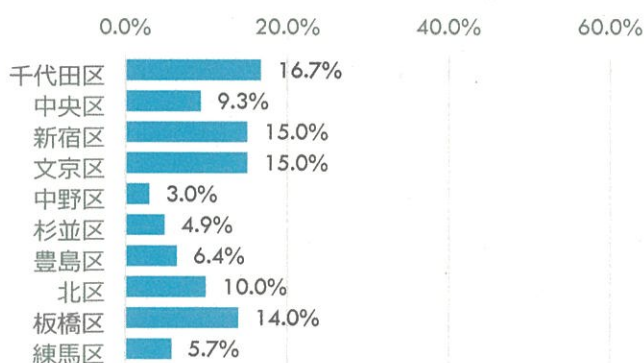
調査時期：令和6年1月9日～令和6年1月29日
調査対象企業：中央城北管内の中小企業 3,000 社（総務省データからランダムに抽出）
有効回答数：477社（有効回答率15.9%）

◆調査結果の主なポイント◆

1 回答企業の概要

所在地では「千代田区」16.7%（図1）、業種では「建設業」31.4%（図2）、従業員数では「10～29人」38.8%（図3）、資本金では「1000～3000万円未満」47.6%（図4）が最も高くなっています。

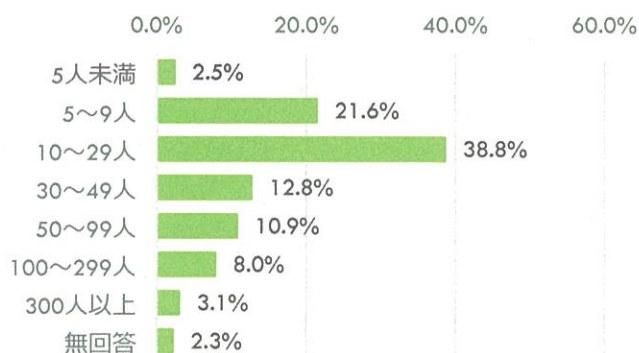
所在地(図1)



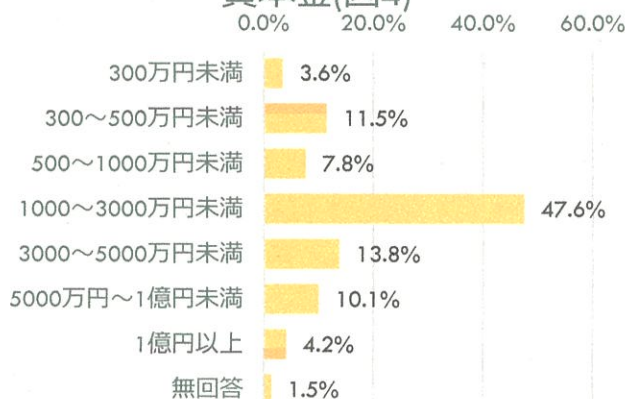
業種(図2)



従業員数(図3)

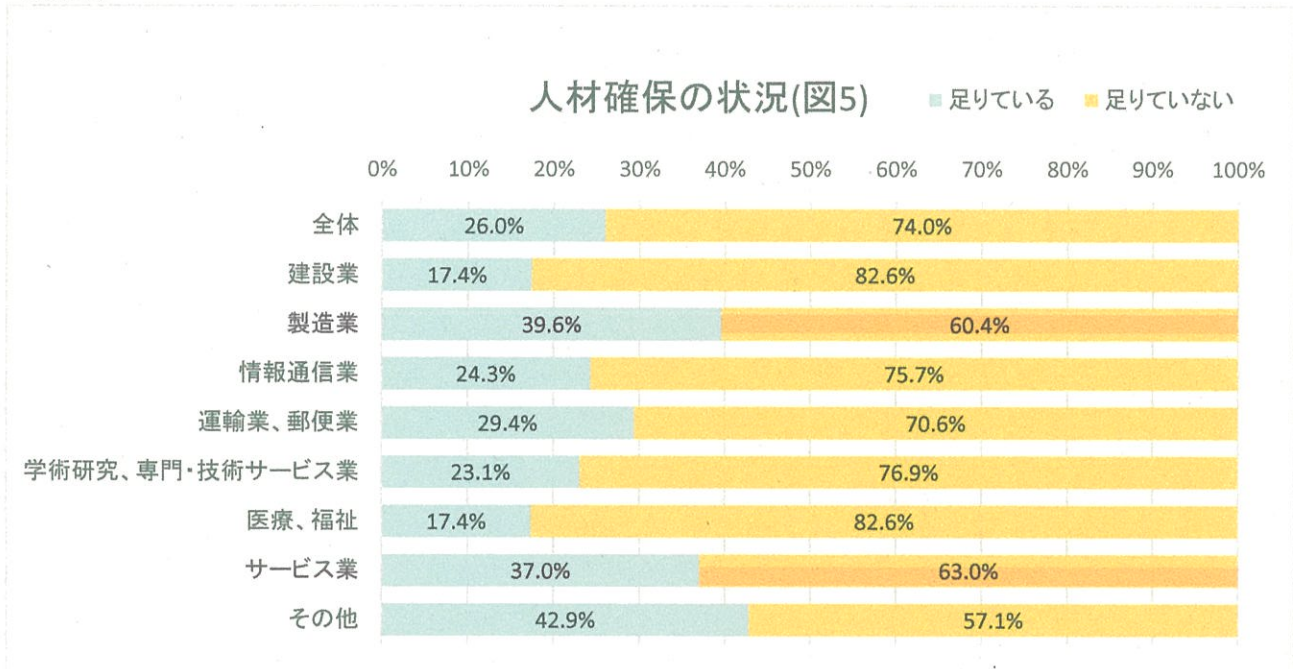


資本金(図4)



2 人材確保について

人材の確保については、「足りていない」74.0%（前年58.5%）の割合が大きく増加しました。更に、全業種で「足りていない」が半数を超え、中でも「足りていない」の割合が高いのは「建設業」82.6%、「医療、福祉」82.6%、「学術研究、専門・技術サービス」76.9%となっています。（図5）

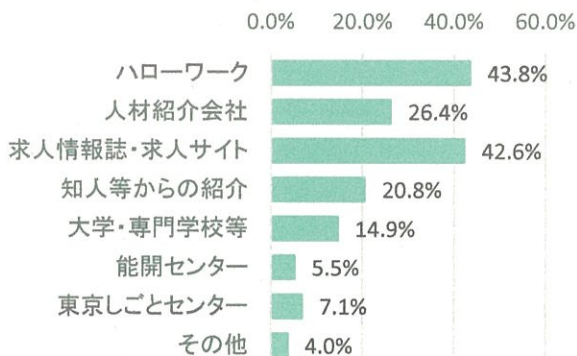


『採用時の求人ルート』では「ハローワーク」43.8%（前年56.5%）の割合が大きく減少、「求人情報誌・求人サイト」42.6%（前年40.9%）や「能開センター」5.5%（前年3.6%）の割合は増えました。（図6）

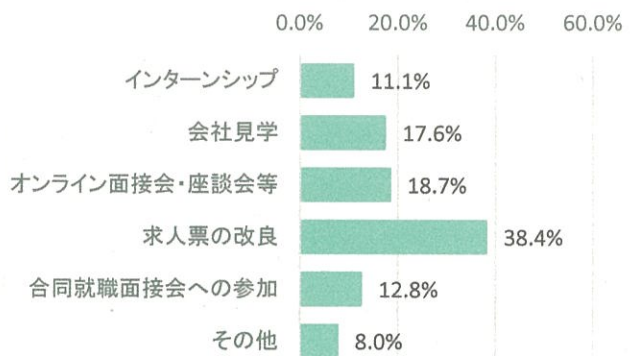
『採用にあたっての取り組み』は「求人票の改良」が前年に引き続き最も高くなりました。（図7）

『人材不足対策』は、「中途採用の強化」が54.7%と最も高く、次いで「社内人材の教育」が35.0%となっています。（図8）

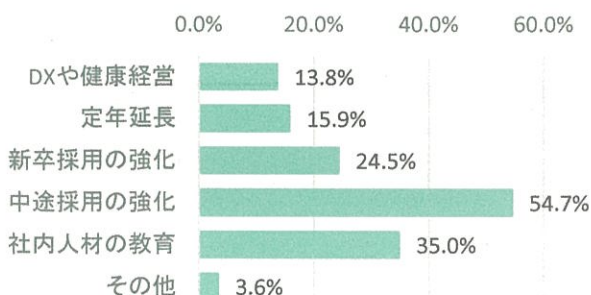
採用時の求人ルート(図6)



採用にあたっての取り組み(図7)



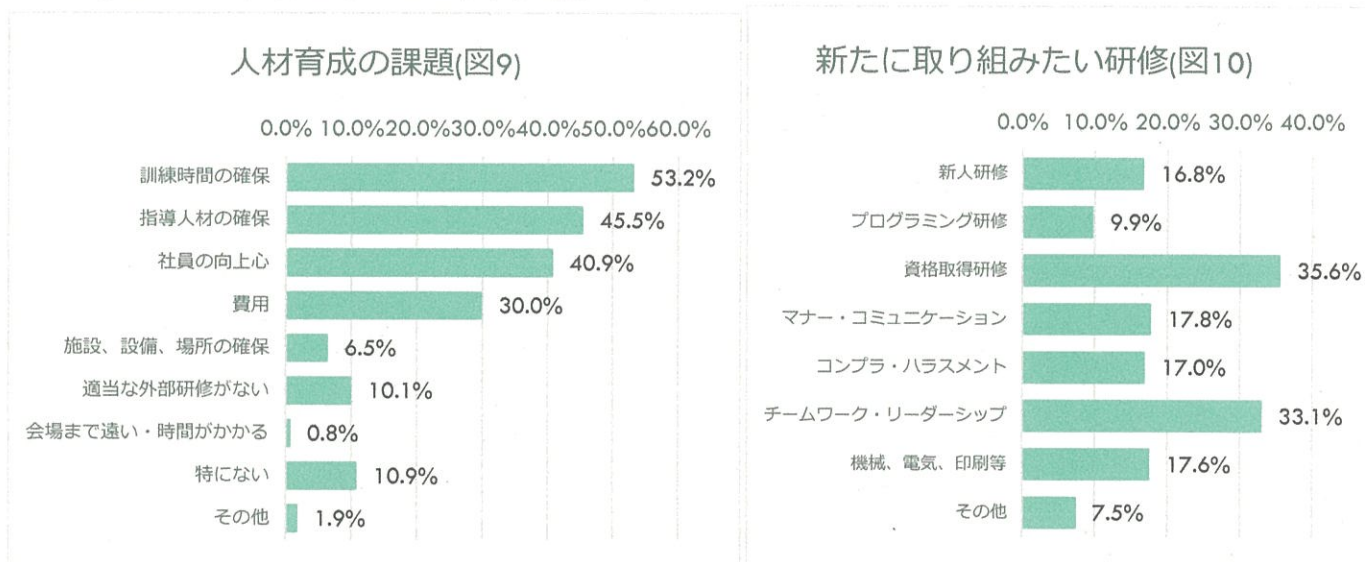
人材不足対策(図8)



3 人材育成について

『人材育成の課題』では、引き続き「訓練時間の確保」が53.2%（前年52.9%）、「指導人材の確保」が45.5%（前年40.1%）と上位を占めており、その割合も前年に比べて増加しています。（図9）

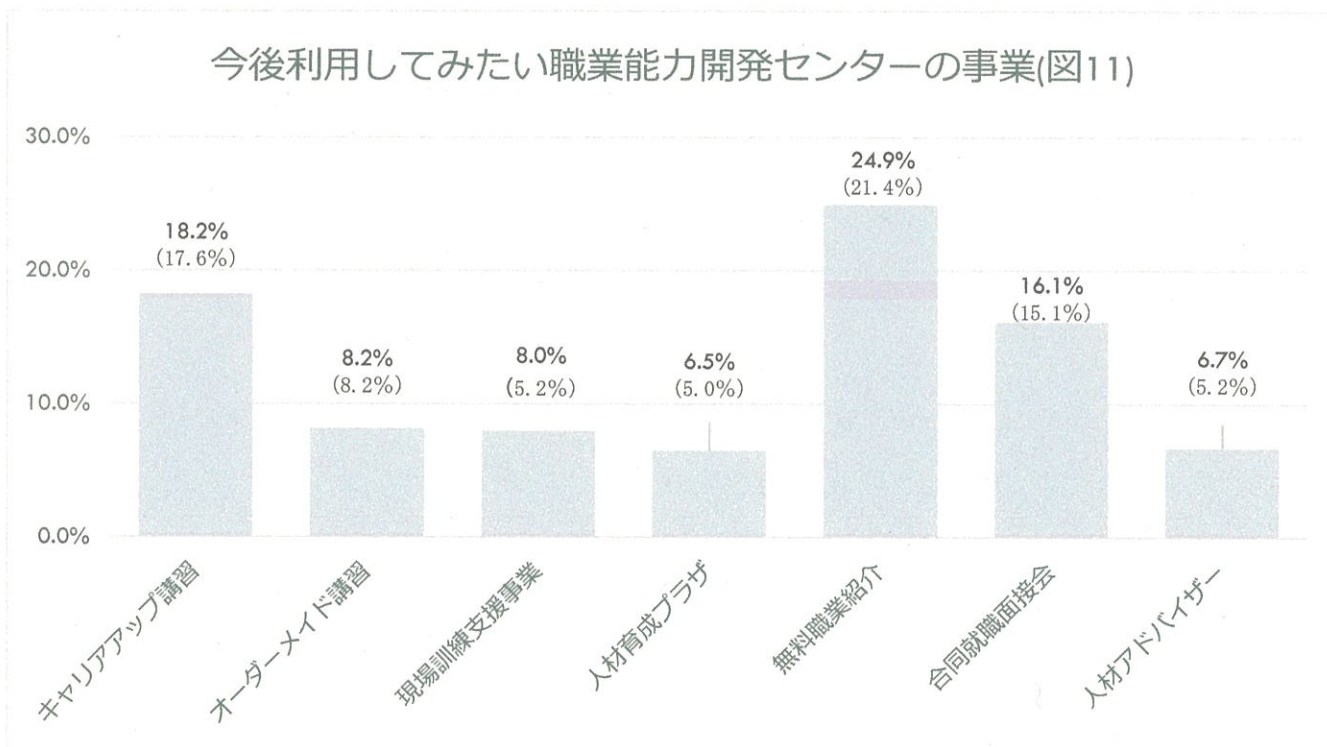
『新たに取り組みたい研修』としては、「資格取得研修」が35.6%、「チームワーク・リーダーシップ研修」が33.1%となっています。（図10）



4 職業能力開発センターについて

『今後利用してみたい職業能力開発センターの事業』では、無料職業紹介が24.9%（前年21.4%）など、オーダーメイド講習を除くすべての項目で前年を上回っています。（図11）

※()内は前年数値



全体の報告書は、中央・城北職業能力開発センターのホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。→→→

